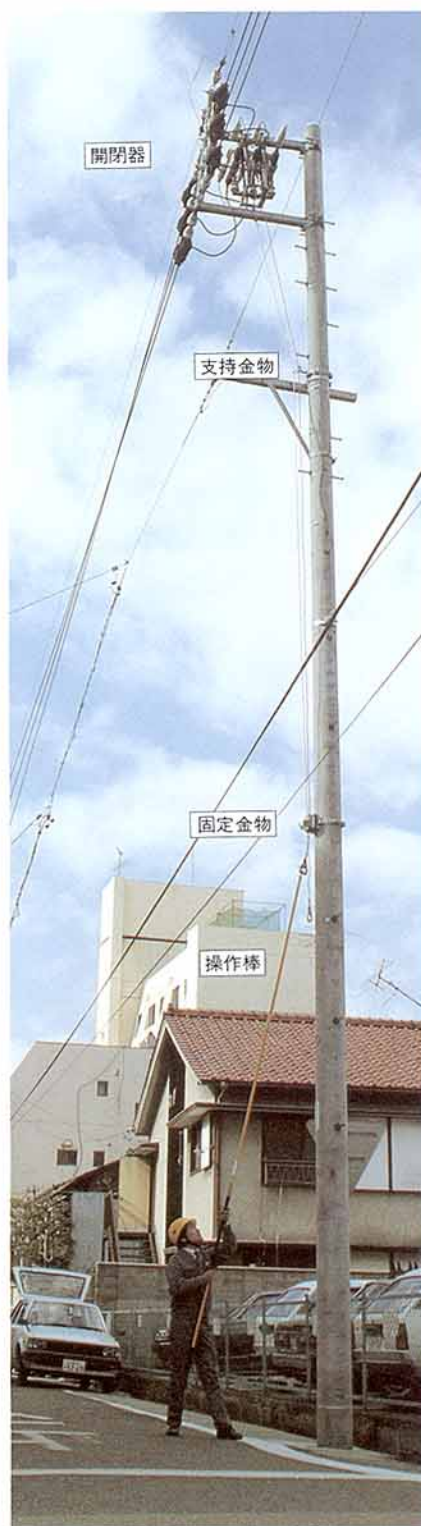


開閉器地上操作装置の開発

操作時間の短縮と作業安全



開閉器と地上操作装置

当社の柱上開閉器は現在約26万個施設されており、この開閉器の操作を柱上約5mの位置で行っているため、昇降柱が必要となっている。開閉器操作時間の短縮および作業安全の確保を目指し、地上から操作できる開閉器操作装置を開発した。既設の開閉器に操作装置のみを付加するもので、すでに現場に取り付けられ、成果をあげている。

1 開閉器を地上から操作

開閉器地上操作装置は絶縁性能を有する操作棒で開閉器を地上から容易に操作できるものである。この装置は、固定金物、支持金物、操作棒から構成する。

2 作業効率、騒音防止等を考慮

(1) 操作棒を使用し、地上から次の操作が可能である。

- ① 開閉器の「入」、「切」
- ② 固定金物への操作網の「固定」、「解除」およびニグリの収納

(2) 支持金物により柱上の障害物の回

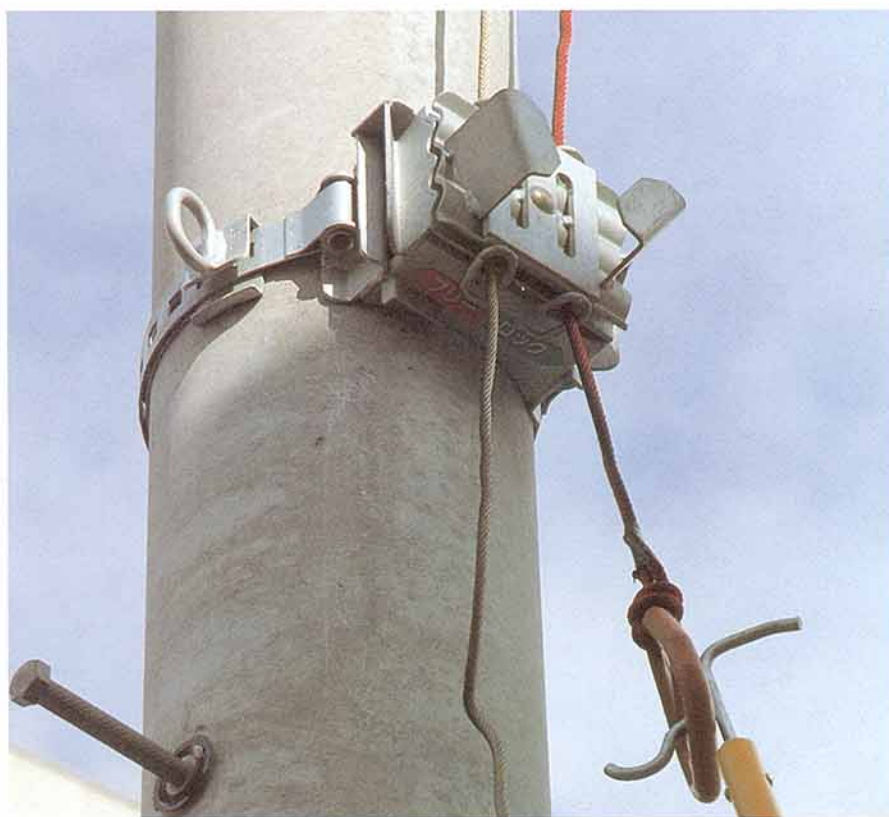
避、車道を避けた操作位置を任意に選択できる。

- (3) 操作棒は3本組み立てで、持ち運びが容易である。
- (4) 操作網のニグりを固定金物に収納するため、風等による騒音を防止できる。
- (5) 既設設備に容易に取り付けできる。

3 現場にて試行

現在、環境別（都心部、塩害地区、寒冷地）に試行中である。現場ではすでに安全化等の成果をあげており、今後本格採用を検討していくものである。

（配電部 配電技術課）



開閉器の操作